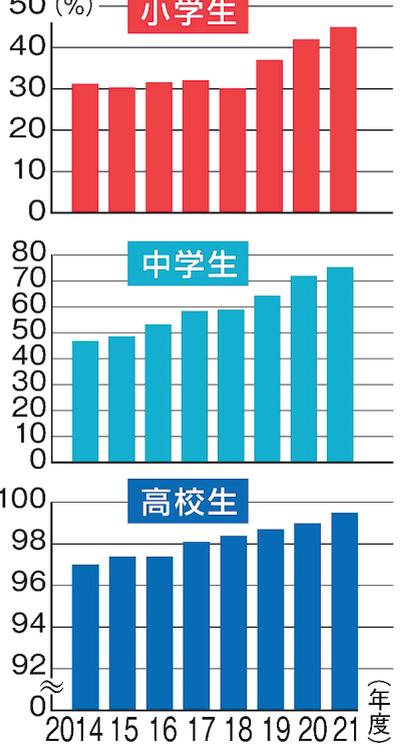


# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山県教委が、公立小中高校生を対象に、スマートフォン・携帯電話の利用実態調査を行いました。記事を読み質問に答えましょう。

スマホや携帯電話の所持率



## スマホ・携帯所持

県教委は9日、公立小中高校生を対象にしたスマートフォンや携帯電話の利用実態に関する2021年度調査の結果を発表した。所持率は小学生が前年度比2・9ポイント増の44・9%、中学生が3・5ポイント増の75・3%。「スマホデビュー」の低年齢化がさらに顕著になる中で、ネット依存やトラブルを防ぐため家庭でのルールづくりを推進する方針だ。

(南原久人)

高校生の所持率は0の14・2%、中学生が5ポイント増の99・5%。7・3ポイント増の28・2%、小中を含めて14年度に高校生は0・5ポイント増の調査を開始してから最も高かった。長時間利用の割合も増加した。平日に3時間以上利用しているのは小学生が0・9ポイント増、高校生が約9

# 小学生 44%

# 中学生 75%

## 県教委21年度調査 長時間利用も増加

調査は昨年12月に公立82校を抽出して行い、小学4年から高校3年の7339人が回答した。

「何をするか」は音楽や動画の視聴、ゲームが高い割合となった一方、「学習に活用している」との回答が6割前後に上っている。

一方、利用に関する「家庭のルールがある」と答えた割合は小学生が3・3ポイント増の64・9%。中学生は前年度と同じ52・0%。ルールの中身は小中とも「使う時間を決めていく」が最多となった。高校は4・6ポイント減の21・0%だった。

県教委は24年度までに家庭のルールを決めている児童生徒の割合を小学生65・0%、中学生55・0%に引き上げる目標を設定している。スマホの適切な利用を考える「スマホサミット」やPTAの研修会などを通じて働き掛けを強化する。

県教委人権教育・生徒指導課は「社会の変化の中で児童生徒にとってスマホがより身近な存在になっている。いかに適切に使うかという観点で啓発していきたい」としている。

10日付山陽新聞、全県版

### Q1

小学生と中学生のスマホ・携帯電話の所持率(2021年度)を、見出しを見て答えましょう。

小学生  %

中学生  %

### Q2

ネット依存やトラブルを防ぐために、県教委はどのようなことを推進していく方針ですか。

### Q3

スマホ・携帯を持っている人は、どのような点に注意して使っていますか。まだ持っていない人は、もし使うならどのような点に気を付けたいですか。

過去の問題は  
こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。